

□ J P A 震災情報（第 24 報）-----2011.4.12-*

-----発行：日本難病・疾病団体協議会（J P A）事務局

患者団体、関係者のみなさんへ

J P A 震災情報「第 24 報」をお届けします。

4 月 7 日の宮城沖震度 6 強を観測した地震で、山形県内の患者が停電で酸素吸入器が使えずに死亡した事例が起こったことから、厚生労働省は 8 日付けで、都道府県をはじめ各方面に対して、在宅療養中の患者に対して、人工呼吸器の内臓バッテリーの再確認や、酸素濃縮器を使用している患者などの急な停電への対処などを再点検し、停電時でも適切な医療が確保できるような態勢をとるよう、通知しています。

また、8 日付の厚生労働省健康局疾病対策課から各都道府県難病担当主管課宛の通知では、各都道府県に対して、医療機関への一時受入れの場合の難病医療拠点病院・協力病院の連携も含めた対応、とくに人工呼吸器使用の在宅患者の対応に万全を期すための国立病院機構、労働者健康福祉機構、全国社会保険協会連合会等の運営する主として東北地方と関東信越地区の医療機関に緊急相談窓口を設けるとともに、これらの病院での緊急一時入院の受入れ体制も整備されていることを、別添で、各病院の一覧をつけて通知しています。

両通知とも、厚生労働省ホームページに既にアップされています。既にご存じの方も多いと思いますが、この震災情報でもお知らせしておきます。（水谷）

【通知など】

○停電に係る在宅医療患者への対応について

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000018lba-img/2r98520000018moe.pdf>

（以下、全文テキスト貼り込み）

事務連絡 平成 23 年 4 月 8 日 都道府県医療主管課 御中 厚生労働省医政局指導課

停電に係る在宅医療患者への対応について

今般の東日本大震災については、必要な医療の確保に最大限の御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

4月7日夜に発生した東日本大震災の余震と思われる地震の後、東北電力管内の地域が停電となっている時間帯に、山形県尾花沢市で人工呼吸器と酸素濃縮装置を使用中の患者が死亡する事案が発生いたしました。

停電と死亡の因果関係については不明ですが、貴課におかれましては、貴管下の医療機関及び訪問看護ステーションに対し、人工呼吸器や酸素濃縮装置等の在宅医療機器を使用している患者に対する停電時の対応について、必要に応じ医療機器メーカーと協議を行った上で、

- ・人工呼吸器の内臓バッテリーの有無と持続時間、作動の再確認
- ・人工呼吸器の外部バッテリーの準備及び事前の充電
- ・酸素濃縮装置を在宅で使用している患者に対し、必要な酸素ボンベが配布されているかの再確認
- ・人工呼吸器や酸素濃縮装置を使用している患者に対する停電時の対応の周知
- ・停電等電源異常時のアラームが正しく作動するかの再確認
- ・携帯用酸素ボンベセットの使用方法的再確認
- ・患者の状態を踏まえた適切な在宅医療機器への代替や貸出などの対応
- ・在宅医療患者との緊急時連絡体制の再確認

等により、在宅医療患者への医療の提供が、停電時においてもできるだけ支障なく行われるよう、適切な指導の実施について特段の御協力をお願いいたします。

<連絡先>

厚生労働省医政局指導課在宅医療係

電話（代表）03-5253-1111（内2662）

○東日本大震災の余震等による停電に係る人工呼吸器等使用の在宅療養患者に対する注意喚起について（依頼）

東日本大震災の余震等により、人工呼吸器を使用する在宅療養患者の対応に万全を期するため、患者等に対する注意喚起を行い、在宅療養患者が遺漏なく停電に対応できるよう、各都道府県難病担当主管課に依頼。（健康局疾病対策課、4月8日付）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000018lba-img/2r98520000018nb7.pdf>

（こちらは、文字埋め込みのないPDFです。）

【情報・ニュースより】

○十日町と津南、震災再建進まず

12日未明に新潟・長野県境を震源とする震度6弱の地震に襲われた十日町市と津南町。

被害が大きかった地域の住宅再建はいまだに進まず、農地の復旧など農業の先行きも見えないままだ。

約 30 世帯 90 人が暮らす津南町の上野集落では道路に大きな亀裂が入り、多くの住宅が半壊した。地震当時、集落の代表だった男性（54）は「地震から 1 カ月がたつのに義援金は届かず、半壊住宅への支援もはっきりしない。また大きな地震が来れば家がつぶれかねない。どうやって集落を復興させればいいのか」と途方に暮れる。多くの住民が地区の施設に避難した十日町市浦田地区ではまだ積雪が 1 メートル以上残る。農地や農道、水路への被害が把握できていない状態で、地区代表の男性（75）は「ことしは山地のほとんどで作付けできないのでは」と不安を口にした。

9 日午後 6 時現在、同市松之山地区の避難所に 1 世帯 8 人、民間施設に 1 世帯 2 人がそれぞれ避難している。

（新潟日報 2011 年 4 月 9 日）

★みなさまからの情報をお寄せください。

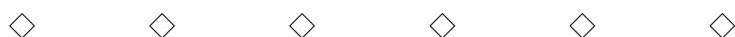
◎緊急な場合の連絡は水谷の携帯（090-8501-4281）までお願いします。

なお、メールは随時チェックしています。

J P A ホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

震災情報ブログページ <http://blog.goo.ne.jp/jpa2011>

（こちらに声をお寄せください）



日本難病・疾病団体協議会（J P A、Japan Patients Association）

事務局長 水谷幸司

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610 号

電話 03-6280-7734 F A X 03-6280-7735

<http://www.nanbyo.jp/> jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
